

しつどけい 湿度計をつくろう

湿度計とは？

^{しつど}湿度とは空気のしめっぽさのことです。晴れると空気がかわいて湿度は低く、くもりや雨だと空気がしめって湿度が高くなります。气象台では湿度を毎日はかって、天気予報に役立っています。

湿度計は湿度をはかるための道具です。むかし、气象台の湿度計は髪の毛をつかっていました。空気がしめると髪の毛がのびることを利用していたのです。ここではそれと同じ方法を使った、かんたんな湿度計の作り方をお教えします。

湿度計の材料

このような材料を用意してください。(他にのり、セロテープ、ハサミを使います)

^{はっほう}発泡スチロール(たて30cm、よこ30cm、^{あつ}厚さ3cmくらい)

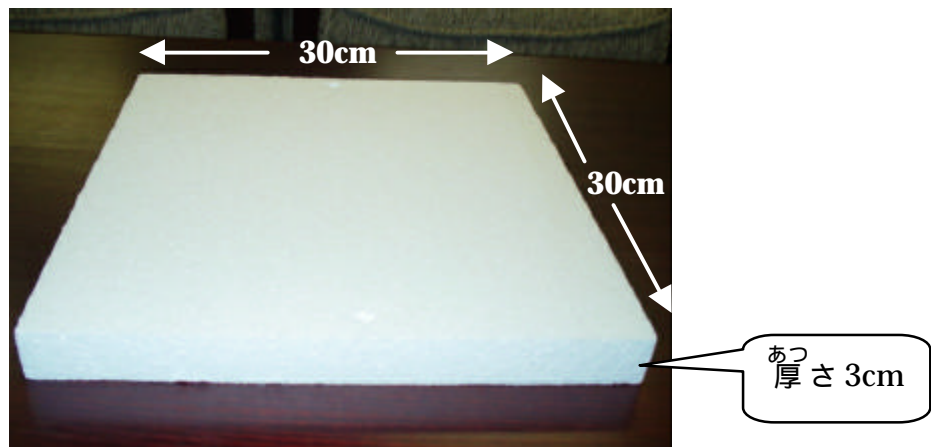
セロファン

わりばし

ストロー2本(太めのもの)

カーペットピン4本(長さ3cmくらい)

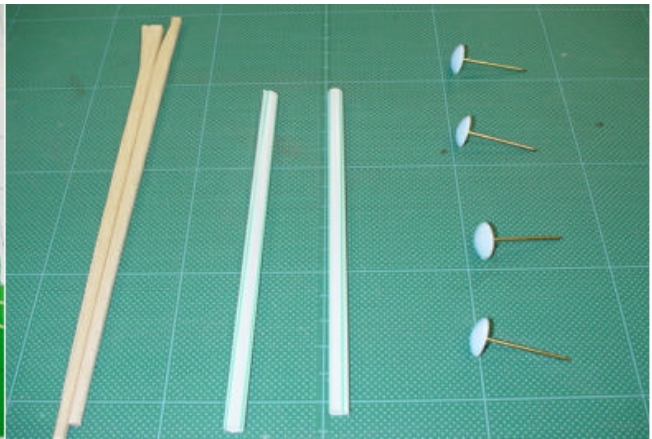
メモリ用紙(最後のページにありますので印刷して使ってください)



発泡スチロール



セロファン



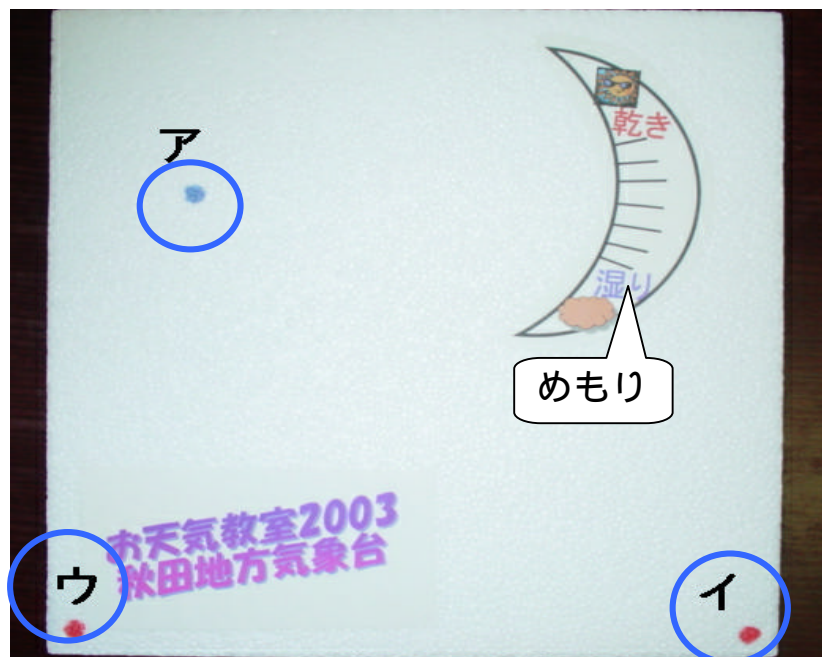
わりばし ストロー カーペットピン

湿度計のつくりかた

(1) 発泡スチロールに点を書く

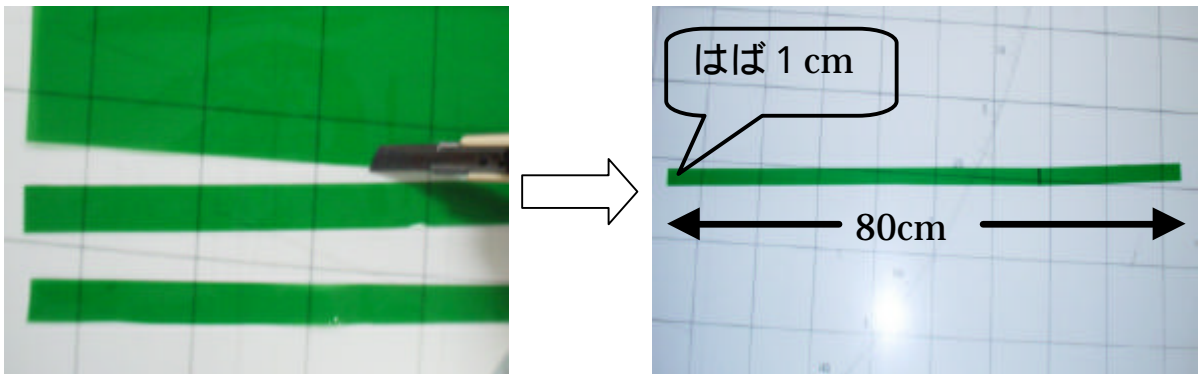
写真の3ヶ所(ア・イ・ウの部分)にマジックなどで目印になる点を書きます。

メモりを切り取り、写真の場所にのりではりつけます。



(2) セロファンのおびをつくる

セロファンを切って写真のような帯を作ります。(長さ 80cm、はば 1cm)



長さが短いときは、何本かをセロファンテープでつなぎ合わせて 80cm ぐらいの長さにします。



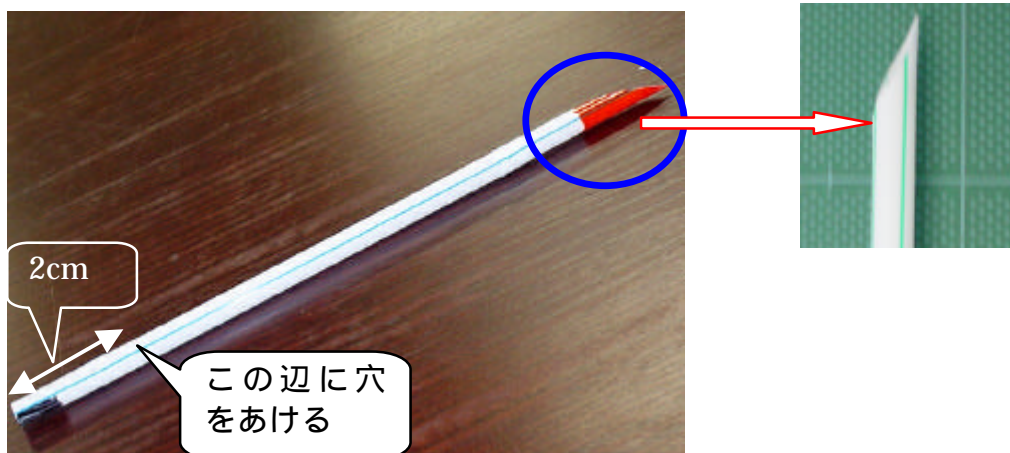
帯の片方側だけ、はしを丸くわっかにしてセロファンテープでとめます。

(3) 針ストローを作る

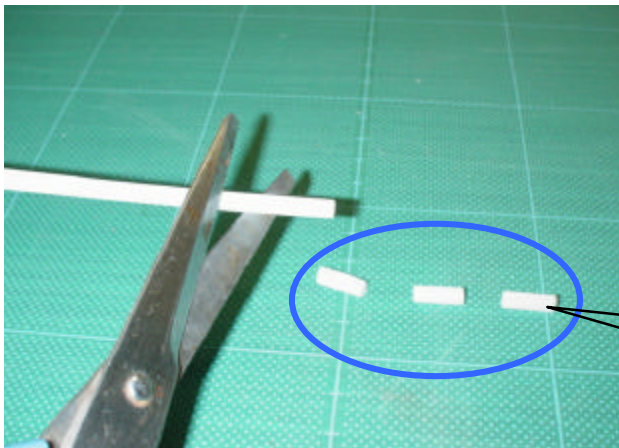
ストローAの先をななめに切ります。これを針ストローとよびます。

切った方とは反対の先の方にカーペットピンが自由にごける大きさの穴をピンをつき刺してあけます。

(はしから 2cm ぐらいの部分にあける)



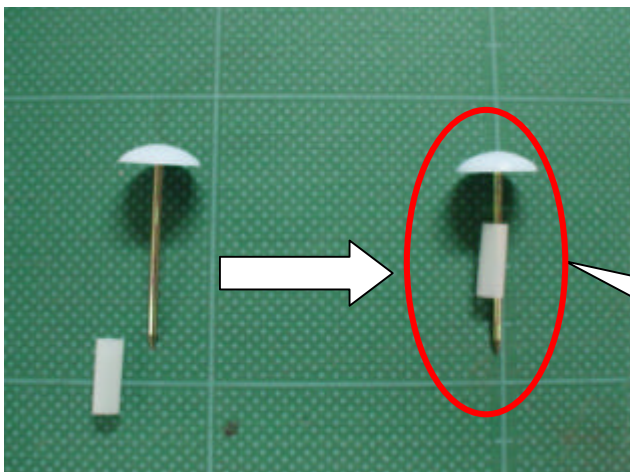
(4) ストローリングを作る



ストローBを長さ1cm、3コずつに切ります。これをストローリングと呼びます。

1 cm くらい

(5) ピンにストローリングを通す

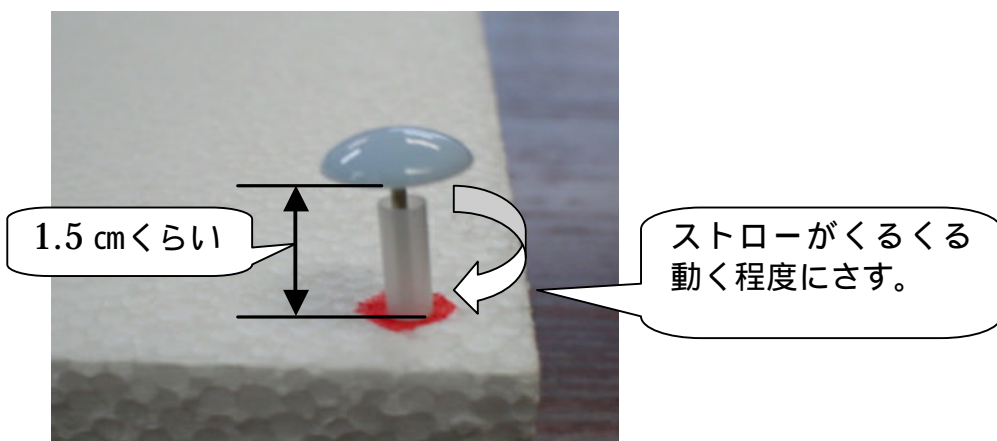


ピンAとピンBを取り出し、それぞれを(4)で作ったストローリングに通します。

これをふたつ作ります

(6) ピンを発泡スチロールに刺す

(5)で作った二本のピンを発泡スチロールのイ・ウの2ヶ所の点に垂直にさします。

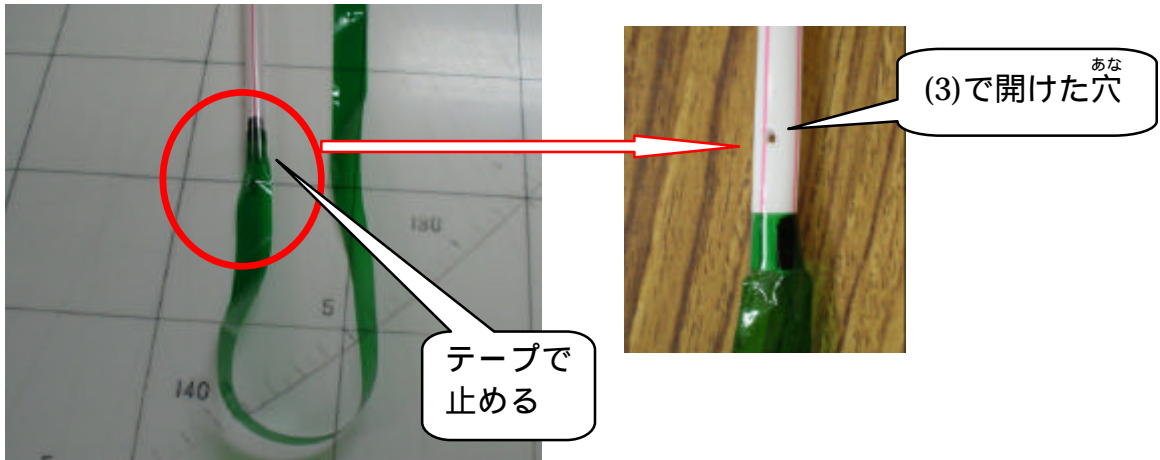


1.5 cm くらい

ストローがくるくる動く程度にさす。

(7) 針ストローとセロファン貼り付け

(3) で作った針ストローの穴のあけた方のはしに、(2) で作ったセロファンをテープではりつけます。



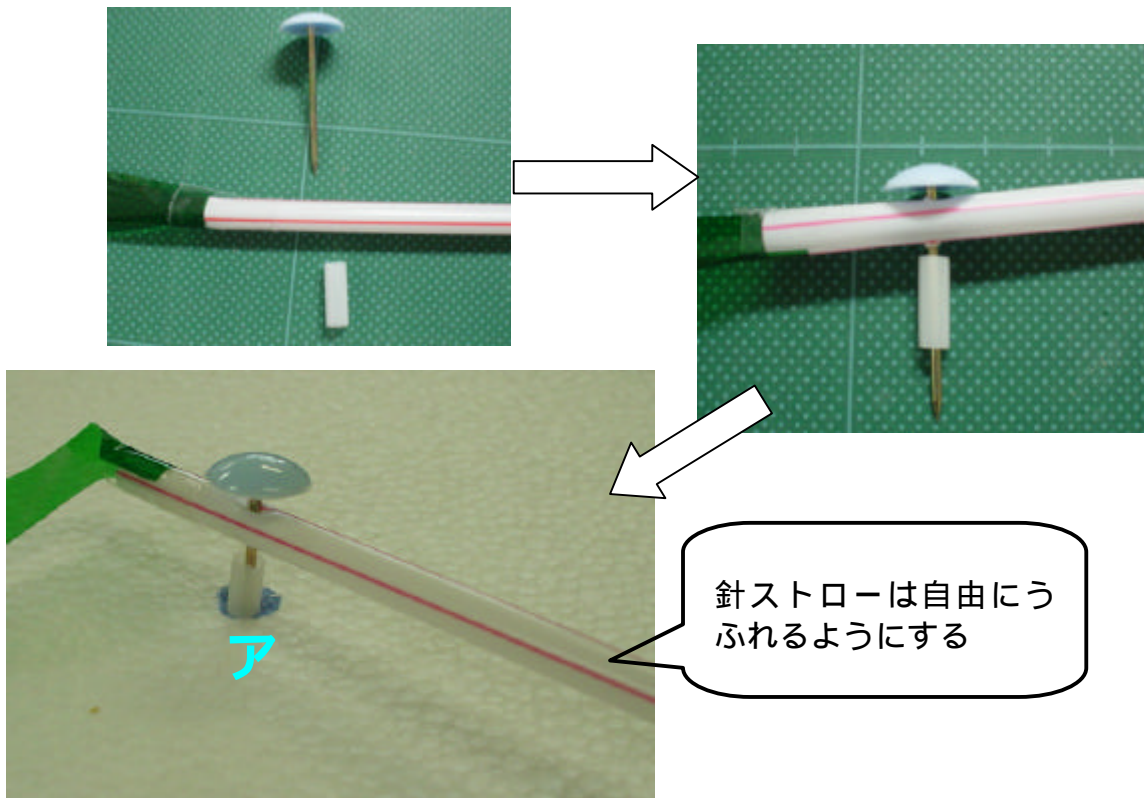
ちゅうい：セロファンはわっかになっていない方をストローにはりつけます。
セロファンは(3)で開けたあなにかぶせない様になります。

(8) 針ストローを発泡スチロールにさす

針ストローに開けた穴にピンCをとおします。

ピンCの先にストローリングをとおします。

そのまま、写真のように発泡スチロールのアの点に垂直にさします。



(9) セロファンをピンに引っかける

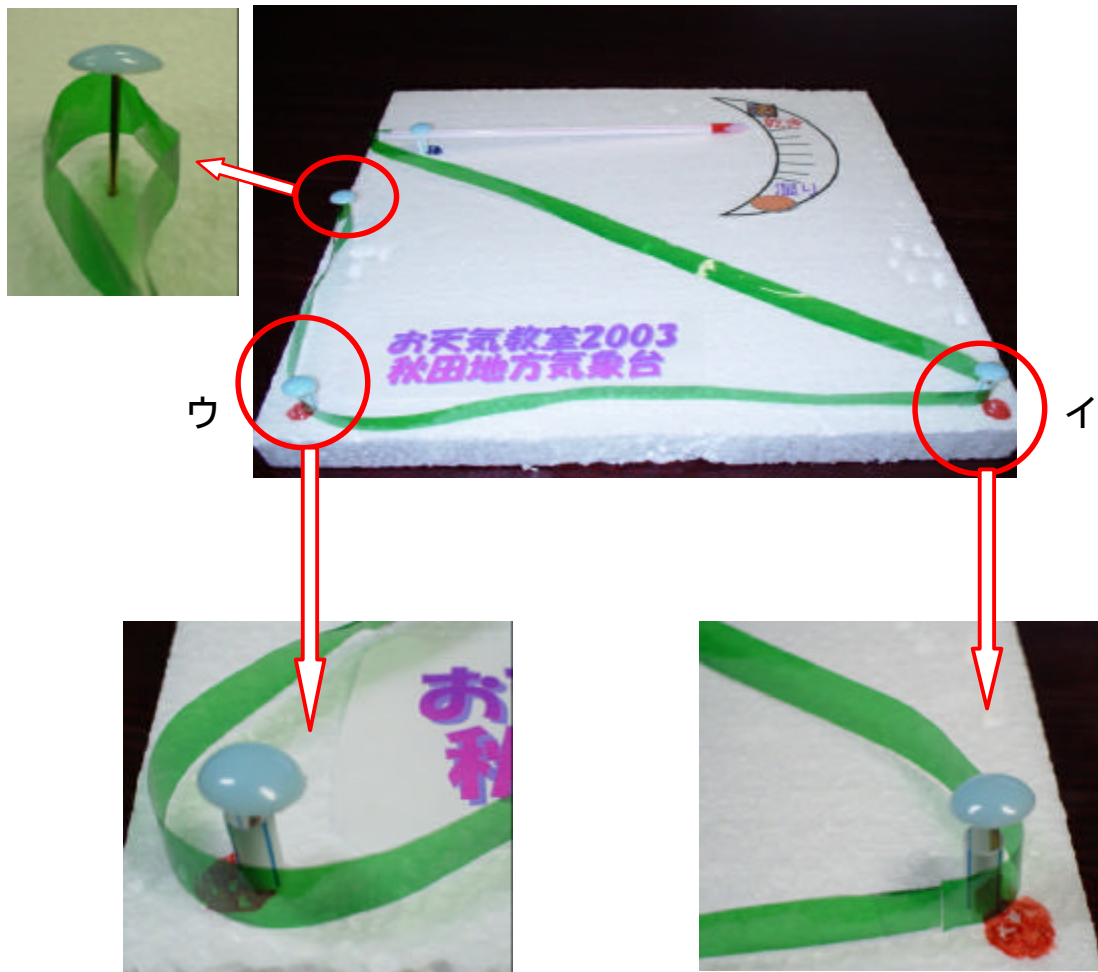
セロファンをまず右下のピンイにひっかけます。

つづいてセロファンを左下のピンウにひっかけます。

ピンDを取り出し、(2)で作ったセロファンのわっかにピンDをとおします。

セロファンをたるみのない様に張りながら、針ストローがメモリの真ん中付近を指すようにピンDを刺す場所をちょうせつします。

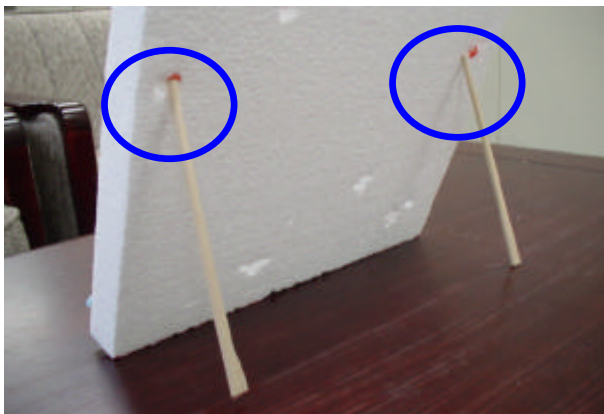
(このとき、本体を何かに立てかけて作業した方が、かんたんです)



(1 0) あしの取り付け

割りばしを発泡スチロールの裏に刺し、あしにします。

(うまく刺さらないときはカッターなどで割りばしの先を少しとがらせます)



本体が立てば出来上がり。

湿度計のついかた

この手作り湿度計では、湿度が何パーセントかを知ることは出来ませんが、空気がかわいているか湿っているかということと、そのうつり変わりを知ることができます。空気がかわいていると、セロファンがちぢみ、針は上を向きます。空気がしめっていると、セロファンがのび、針は下を向きます。

セロファンはあまり丈夫でなく、数日するとあまりのびちぢみしなくなります。そんなときは、新しいセロファンとこうかんしてみましょ。

湿度計をつくり針の上下を見るのは、セロファンのかくされた力を知ることができて楽しいものです。休みには湿度計の工作でもしてみませんか。

(針のうごきをかんたんに見るためには、セロファンに息を吹きかけてみましょう。息はしめっばいですから、針が少しずつ下を向きます。他にも除湿器や加湿器のそばにおいても、針がかんたんにうごきます。)

【めもり用紙】

切りとって使おう！

